

2月25日の本会議において、総務常任委員会に付託を受けました請願第1号について、3月16日に開催した委員会の審査結果を報告します。

紹介議員からは、全国的に免許証自主返納者あるいは高齢者の利便性の確保ということは、今後、必ず社会的にも大きな問題になってくる。とりわけ中山間地といわれる地域では、ますます深刻な事態になってくると言われている。湖南省も野洲川を挟んで北側と南側で行政施設・商業施設等へ移動する際の利便性を考えると、検討すべきである。

湖南省コミュニティバス「めぐるくん」は、運行当初からも問題を抱え、市民の方からも様々な意見をいただき、市はもちろん、議会でもこれを問題とし、全体で改善を図ってきたと思っている。コミュニティバスの運行も利便性を確保することと、同時に70歳以上についての費用負担がないようにしていくことが全国の市町でも進んでおり、湖南省でもコミュニティバスを利用する際の料金について、70歳以上の無料化をぜひ実現していただきたいという趣旨から各会派代表の同意を得て提出したとの説明がありました。

委員からは、介護予防の観点からバスを利用して外に出ることは生きがいくくりにもつながり、介護料の削減になればとも思うとの意見がありました。

質疑について、滋賀県の市町で70歳以上から無料乗車としているところはあるかとの質疑に対して、大津市が65歳以上の免許証自主返納者に対して行っている。との回答でした。それぞれの委員の発言を態度表明とし、採決に移りました。

採決の結果、請願第1号高齢者に湖南省コミュニティバス「めぐるくん」の無料乗車制度を求める請願については、全員賛成で、採択すべきものと決定しました。